

# 台湾の道教儀礼の研究と その研究方法

奈良学園大学人間教育学部  
山田 明広

# 「道教」とは？

- 中国固有の宗教で、中国の三教（儒教・仏教・道教）の一つ。
- 万物の根源でありかつ宇宙の真理である「道」と一体になることによって、永遠不滅の生命を獲得すること、つまり神仙になることを究極の理想とする。
- 後漢の太平道、五斗米道という病直しを中心とする民間の宗教結社がその宗教的組織の開始とされる。
- 中国古来の巫術や鬼神観念を基盤に、儒家や道家の思想、神仙思想、仏教の教理儀礼などを重層的・複合的に取り入れて、六朝末から隋・初唐にかけてその教理と教団組織をほぼ確立する。
- 五代ごろから地方の種々の民間信仰と接触し始め、次第に庶民化し、治病、馭邪、除災などといった現世利益的な目的を遂げるための種々の呪術儀礼が新たに作り出される。
- 元代以降、江南（中国南方）の道教を「正一教」が統括し、華北（中国北方）の道教を「全真教」が統括するようになり、今日ではこれら二教派が主流となっている。
- 道教において、儀礼の執行や誦経を行う宗教職能者を「道士」という。また、この道士が居住して修業したり、儀礼を行ったりする宗教施設を「道観」という。

# 道教儀礼とは？

○道教の**儀式**のこと。

○以下の3種のものに大別できる。

①**祈安儀礼**（＝生者救済儀礼）：

消災、解厄、疫病祓い、地域の平安などを祈願する儀礼。

②**死者儀礼**（＝死者救済儀礼）：

死者を地獄などの冥界から救済し、供養する儀礼。

③**伝度儀礼**：

道教に入門して道士となる、あるいは道士としての位階を上げるための儀礼。



# 台湾道教の**主要教派**とその**職能**

- 火居（在家）で出家せず、儀礼を行って生計を立てている職業道士。
- 伝統的に二つの主要教派が存在。

教派	分布	職能
紅頭道士 (=正一派) (=正一派道法 二門道壇)	台湾 中北部	祈安儀礼 伝度儀礼 ※普度*以外の死者 儀礼を行わない
烏頭道士 (=靈宝派) (=正一派靈宝 道壇)	台湾 中南部	祈安儀礼 死者儀礼 伝度儀礼



紅頭道士



烏頭道士

\* 普度: 孤魂(=無縁仏)救済儀礼

「何」を「どのように」  
研究しているのか？

# ①台湾の現在の道教儀礼の具体像とその意味

## ○研究方法:

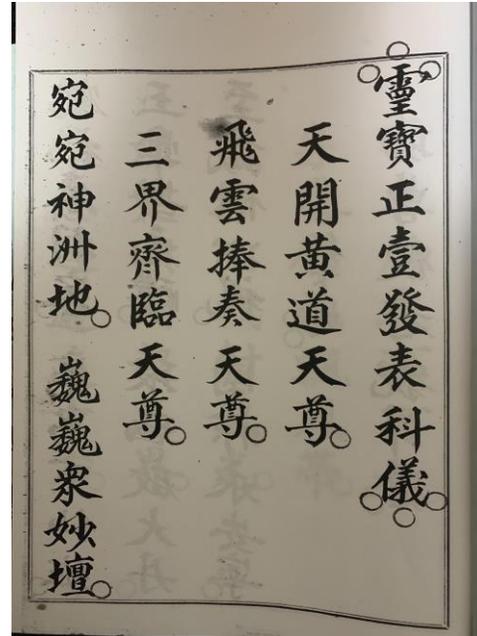
**現地調査**：儀礼の現場にて儀礼の撮影、道士に対する聞き取り

+

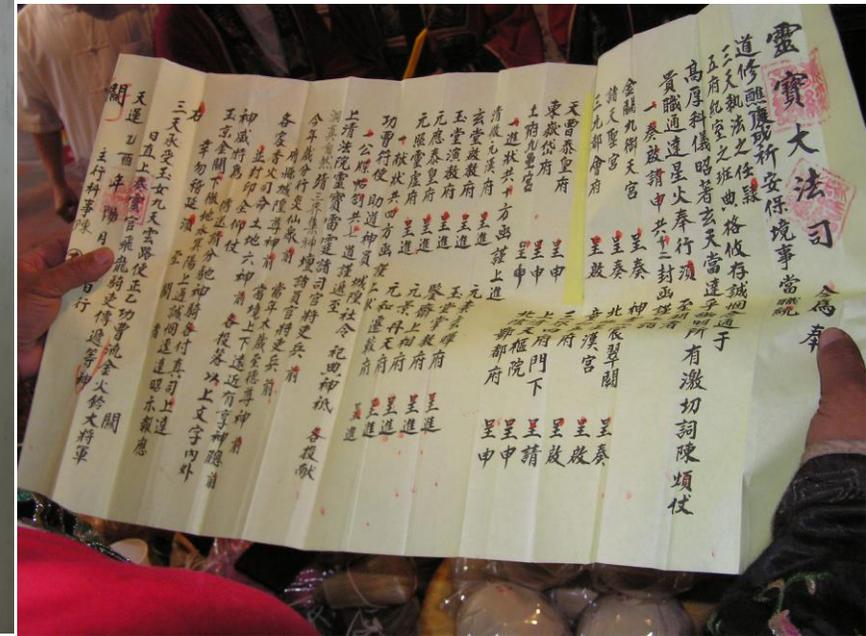
**文献読解**：儀礼を行う際に使用される「科儀書」と「儀礼文書」の読解

## ○明らかにできること：

- ・ 儀礼の具体的実施方法
- ・ 儀礼の目的、意味
- ・ 「科儀書」と「儀礼文書」の内容



「科儀書」の例：  
「靈寶正一發表科儀」



「儀礼文書」の例：  
發表科儀の「發表関」<sup>6</sup>

## ②道教儀礼の台湾における地域的差異

### ○研究方法:

**比較研究** (☛現地調査 + 文献読解)

二つ以上の地域において①の研究を実施



それぞれの結果 (儀礼の具体的実施方法、儀礼の目的・意味、「科儀書」と「儀礼文書」の内容など) を相互に比較する。

### ○明らかにできること:

- ・ 儀礼の共通点と相違点
- ・ 儀礼における地域間の影響、伝播関係

# (例) 死者儀礼の「煉度科儀」の比較

## 新竹・苗栗地域の「煉度科儀」



## 高雄・屏東地域の「煉度科儀」



≠

➡ 「煉度科儀」とは亡くなった人の身体を復活させ、昇仙へと導くべく、身体を水と火の象徴的力で錬成するという儀式。両地域のものを相互に比較すると、「科儀書」の内容は互いに類似点も多いが、儀礼の表現形式がまったく異なる。

# ③他の教派ないし宗教の儀礼からの影響

## ○研究方法:

**比較研究** (☛現地調査 + 文献読解)

①の研究を実施

+

同地域ないし隣接する地域の異なる教派ないし宗教の儀礼について①の研究を実施。



それぞれの結果 (儀礼の具体的実施方法、儀礼の意味・目的、「科儀書」と「儀礼文書」の内容など) を相互に比較する。

## ○明らかにできること:

- ・他の教派ないし宗教の儀礼との共通点
- ・他の教派ないし宗教の儀礼との間の影響関係、協力関係

# (例) 死者儀礼の「発表科儀」における服装の比較

新北淡水区の烏頭道士



新北淡水区の釈教の香花和尚



影響



祈安儀礼時の台北淡水区の烏頭道士

cf: 台南市の烏頭道士 (祈安、死者共通)

# ④台湾の道教儀礼の歴史的変遷および成立

## ○研究方法:

### 文献読解による比較研究

- ・現代の道教儀礼の「科儀書」と「儀礼文書」の内容
  - ・古い時代の道教儀礼の「科儀書」と「儀礼文書」の内容
- 相互比較



共通性、類似性などから歴史的変遷および成立について推定する。

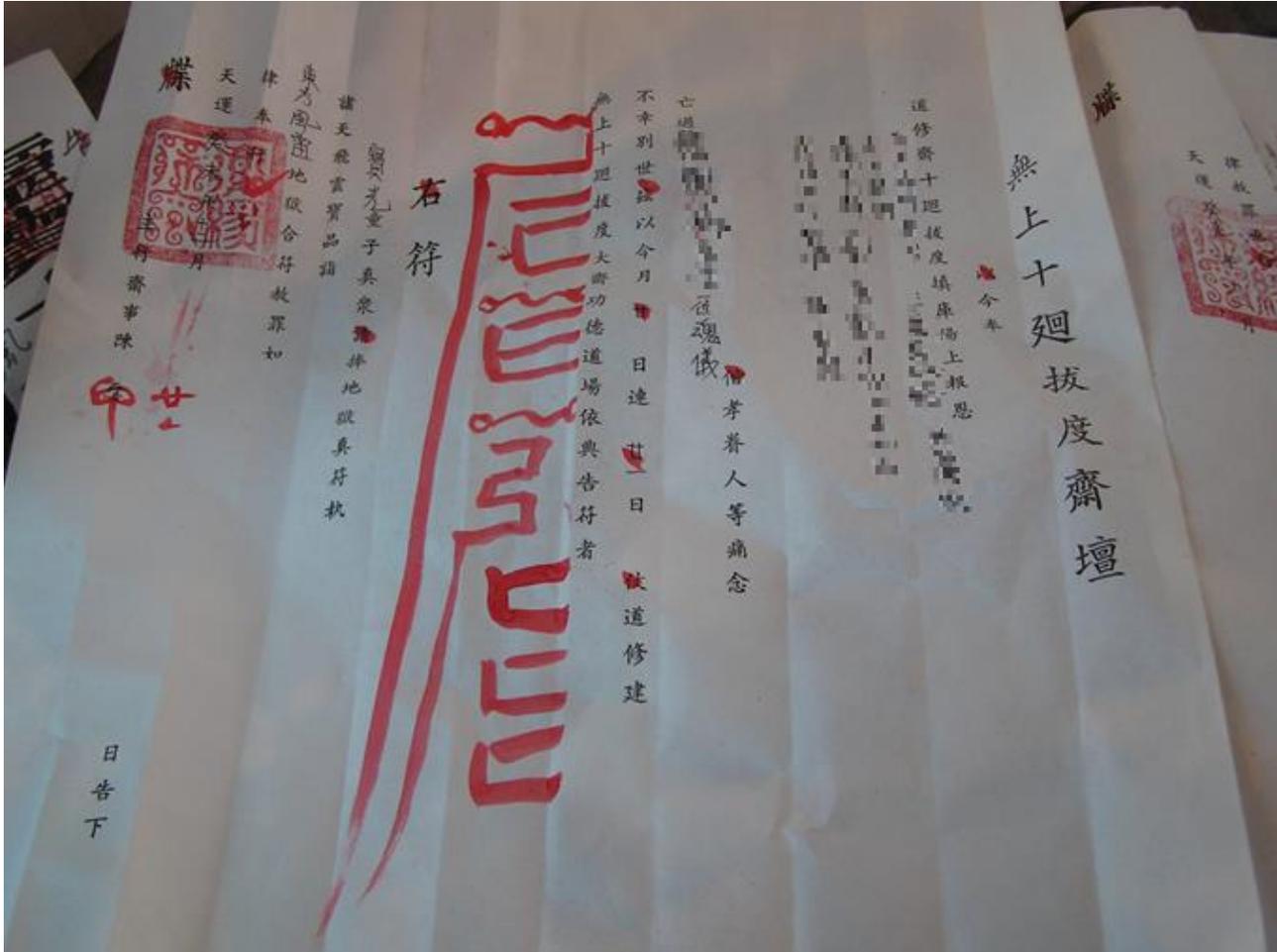
## ○明らかにできること:

台湾の道教儀礼の歴史的変遷および成立についての推定

# (例) 儀礼文書の比較

現代の台南市の合符童子科儀の「童子符」

南宋・王契真『上清靈寶大法』卷64  
所載の破獄儀の「童子合牒」



≡

年	月	日	牒
律奉行			
東方風雷地獄合符赦罪如			
金簡執諸天飛雲寶器徑詣			
右符寶光童子眞衆請據破獄			
貼符 貼左一半與 九獄牒合同			
玉清敕命告下神符金簡者			
靈寶大法司今准			
童子合牒 十二道 臨破獄時 逐道發			

# 研究成果と今後の研究課題

---

# 山田明広の研究成果

## ○すでに成果が出ているもの：

- 台南地域と高雄・屏東地域との間の功德儀礼（死者救済儀礼）および功德儀礼で使用される儀礼文書の地域的差異 研究方法☛ ②
- 台湾南部地域の道教の異常死者救済儀礼の具体像および地域的差異  
研究方法☛ ①②
- 台湾北部地域紅頭道士の午朝科儀の具体像と南部烏頭道士の午朝科儀との相違、および歴史的変遷 研究方法☛ ①②③④
- 台南地域の合符童子科儀の具体像とその成立 研究方法☛ ①④
- 台湾中部地域の功德儀礼の具体像 研究方法☛ ①

## ○現在研究中のもの：

- 台湾北部地域烏頭道士の功德儀礼の具体像と南部・中部地域のものとの地域的差異、釈教および北部紅頭道士の儀礼からの影響 研究方法☛ ①②③④

# 研究成果を通して明らかにしたこと

- 台湾においては、同じ教派の道士である場合、その儀礼は大同小異と見なされがちで、あまり地域差に注目されていないが、実際は地域が変わればその儀礼は大きく異なることがある。また、隣り合う地域どうしで儀礼が異なっている場合でも、離れた地域どうしでかなりの共通性が見出される場合もある。
- 道士たちは多くが世襲であるが、継承者がいない場合が多く、ここ数年の間にもいくつかの道壇が活動しなくなっている。地域によっては道教儀礼という伝統文化が完全に消滅してしまう恐れがあるため、今のうちに記録し研究しておく必要がある。

# 今後の研究課題

- 台湾全体の道教の死者救済儀礼の全容と地域差の解明  
⇒ 新たな著作の出版を目標とする
- 各地域の代表的道壇の中国大陸における原籍地での現地調査と儀礼の伝承系統の解明